

- 4 堀大才 (2009) 樹形の不思議(11)枝と幹の結合と
防衛層の形成、樹からの報告No.39、樹木生態研究
会
- 5 Mattheck, C.(2007) Secret Design Rules of
Nature - optimum shapes without computers -
Forschungszentrum Karlsruhe
- 6 Mattheck, C.著、堀大才・三戸久美子訳 (2008)
最新樹木の危険度診断入門、街路樹診断協会
- 7 Shigo, A. L.(1986) A New Tree Biology
Dictionary - terms, topics, and treatments for
trees and their problems and proper care - Shigo
& Trees, Associates
- 8 Shigo, A. L.(1989) A New Tree Biology - facts,
photos, and philosophies on trees and their
problems and proper care - 2nd ed. Shigo & Trees,
Associates
- 9 Shigo, A. L.(1991) Modern Arboriculture - a
systems approach to the care of trees and their
associates - Shigo & Trees, Associates
- 10 Shigo, A. L.著、堀大才・三戸久美子訳(1997)樹
木に関する 100 の誤解、日本緑化センター
- 11 Shigo, A. L.(?) Tree Basics. Shigo & Trees,
Associates
- 12 Thomas, P.(2000) Trees : their Natural History.
Cambridge University Press
- 13 内田均・滝谷雪・堀大才 (2007) イロハモミジ
における剪定方法の違いが損傷被覆組織の形成に
与える影響、ランドスケープ研究 Vol.70 増刊 No.4
- 14 内田均・島村拓也・堀大才 (2008) ソメイヨシ
ノ (*Prunus yedoensis* Matsum.) における防菌処
理の違いが損傷被覆組織形成に及ぼす影響、ラン
ドスケープ研究 Vol.71 No.5
- 15 Zimmermann, M. H.(1983) Xylem Structure
and the Ascent of Sap. Springer- Verlag Berlin
Heidelberg

理事長挨拶

地域と協働の樹木医活動

新理事長 有田和實



「NPO 法人樹の生命を守る会」が、誕生してから9年を迎える事が出来ました。ここに会報「樹の生命」第8号を発行できますことを、会員とともに感

謝いたします。

樹木医技術を通して、千葉県と協働で県内の巨樹・古木 350 本の樹勢調査を行い、この資料を基に県内「ちばの巨樹・古木ガイドマップ」を作成してきました。また、平成 16 年からはホームページ「ちばの巨木・古木ものがたり」も開設いたしました。

千葉県に根を張り、幹を造り、枝を伸ばし、一枚一枚葉を広げ、花を咲かせ、年輪を重ねる樹木のように、多くの関係機関との連携のもと、県民とともに、毎年「子ども樹木博士」「巨樹・古木フォーラム」を開催し、千葉のみどりを守り、育て、増やしてまいります。

1. 平成 21 年度 活動内容

活動内容は以下の通りです。

- 1) 平成 21 年 4 月 29 日 (水・祝)
松戸 21 世紀の森と広場「みどりと花のフェスティバル」で、樹木医による、樹木の健康診断を行いました。
- 2) 平成 21 年 6 月 1 日 (月)
会報第 7 号を発行。
- 3) 平成 21 年 6 月 6 日 (土)
平成 21 年度通常総会をポートプラザちばで開催。今年度活動方針他を決定。
- 4) 平成 21 年 7 月 26 日 (日)
子ども樹木博士認定活動を例年通り、日本

樹木医会千葉県支部・千葉県森林インストラクター会と、森林樹木を主体に開催。

5) 平成 21 年 8 月 23 日 (日)

習志野市より受託したサクラ他の樹木診断業務事業を行うとともに、習志野市の了解を得て、サクラ樹勢診断(第一回) 研修会を行いました。

6) 平成 21 年 10 月 9 日 (金)

成田市より受託した J R 成田駅前シイの樹木診断業務事業を行うとともに、成田市の了解を得て、このシイで樹勢診断 (第二回) 研修会を行いました。

7) 平成 21 年 10 月 17 日 (土)

子ども樹木博士認定活動を、検見川瑞穂団地で、都市樹木を主体に、瑞穂みどりの少年団 92 名の参加で、日本樹木医会千葉県支部・千葉県森林インストラクター会と開催しました。

8) 平成 21 年 11 月 3 日 (火・祝)

香取市「山田ふれあいまつり」に、樹木医として参加し、草炭等配布しました。

9) 平成 21 年 12 月 6 日 (日) ~ 7 日 (月)

会員研修旅行を、群馬県樹木医会や塚本樹木医の協力を得て開催。群馬県の巨樹・古木や、あしかがフラワーパークを視察研修した。

10) 平成 22 年 1 月 31 日 (日)

会員名簿完成、全会員に配布。

11) 平成 22 年 2 月 13 日 (土)

習志野市より受託した実花緑地マツ病害虫防除業務事業を行うとともに、習志野市の了解を得て、マツ病害虫防除 (薬剤樹幹注入) (第三回) 研修会を行いました。

12) 平成 22 年 3 月 15 日 (月)

香取市より受託した府馬の大クスの樹勢回復業務事業を行うとともに、香取市の了

解を得て、この大クス (タブノキ) で樹勢回復(第四回) 研修会を行いました。この他、理事 9 名、監事 2 名が参加する役員会を毎月 1 回開催し、協議事項を役員会報として会員にその都度報告してきました。

2. 受託事業

受託事業としては、習志野市、浦安市、香取市、匝瑳市、成田市、本埜村等から 12 件の樹勢診断・樹勢回復作業を行いました。

上記事業や研修を、会員、各委員が協力して遂行し、会員の技術向上を図るとともに、子ども達に少しでも樹木・自然に親んでもらい、県内緑化、みどりの育成、推進に役立てる事が出来ました。

<まとめ>

我々の NPO 法人活動も 9 年目に入り、千葉県、県内市町村、日本樹木医会千葉県支部、千葉県森林インストラクター会、(財) 日本緑化センター等諸団体、関係各位のご協力を得て、社会に貢献できる団体として、樹木が年々生長するように生長してまいりました。樹木医の知識と経験を生かし、地球温暖化阻止に少しでもお手伝いできるような努力いたす所存でございます。今後も宜しくご指導をお願い致します。

3. 平成 22 年度活動方針

地域の樹木医として、巨樹・古木を守り、樹木の育成の手助けを致します。また、都市樹木、特に街路樹、公園樹等が植栽されてから年月を経て、倒木や枝折れ等の危険木が目立つようになってきました。このような樹木について、地域の関係機関等と協働して、樹木の健康診断を行い、安全で安心できる都市緑化へのお手伝いを行います。

1) 平成 15 年度よりの「巨樹・古木ふれあい環境調査」で調査した樹木 350 本の

観察を行い、樹木医として適切な管理等について助言します。

- 2) ホームページ「ちばの巨樹・古木ものごと」の充実、更新、管理を行います。
- 3) 第5回になる「巨樹・古木フォーラム」は、君津市での開催を予定しています。
- 4) 子ども樹木博士、樹木研修会等、みどりの普及・啓発に関する社会的貢献事業を積極的に推進します。
- 5) 会員のための研修会、技術発表会等を開催し、樹木医としての技術や知識の向上に努めます。
- 6) 会報、パンフレット、ホームページ等による広報活動を充実させます。
- 7) 会の諸活動のための財政基盤の充実を図ります。

これらの活動推進には、私ども会員のさらなる技術向上を図るとともに、県市町村をはじめ、みどりと環境の保全に携わる方々のご理解とご支援なしには出来ません。今後ともよろしく御指導を賜りますようお願い申し上げます。

寄稿

世界の樹木シリーズ (中国・大同市)

樹木医 有田和實

世界の樹木シリーズ6番目は、中国(中華人民共和国)大同市周辺の樹木についてお話しする。



(写真1. 大同市郊外ではヤオトン「黄土を剥り貫いた住居」が点在し、散見する樹木はドロノキ)

大同市は、北京の西およそ 300km、面積

14,000km²、人口約 312 万人の山西省第2の都市である。黄土高原の北端に位置し、内蒙古自治区に万里の長城で接している。大同市の年間降雨量は約 400mm。その7割が夏の3ヵ月に集中し、表土を押し流して浸食谷を刻み、水土流出をすすめる。これが黄土高原である。

黄土高原緑化協力の旅、行程

今回も、高野樹木医と一緒に1週間を研修視察してきた。GEN (NPO 緑の地球ネットワーク) 主催「黄土高原緑化協力の旅」に小川真先生を団長として、樹木医中心に 11 人の旅だった。最初、GEN の高見邦雄事務局長の案内で、北京から霊丘県(南天門-霊丘植物園) (写真2・3)、渾源県、応県と3日掛けて廻った。4日目から大同市内の「白登苗圃」、「かけはしの森」で、育苗と果樹剪定などの指導し、「采涼山プロジェクト」、「カサギの森」では、マツ(アブラマツ)などの造林状況を視察した。また、最終日には「雲崗石窟」を視察し、夜行列車で北京に戻り旅を終えた。



(写真2. 南天門「中央の山頂」山麓に霊丘植物園がある)



(写真3. ヤギの食事: 南天門山麓)